

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>アンドレ・シトロエン公園</b> Andre Citroen Park		
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 公園施設	<b>小分類</b> 公園、植物園、遊戯施設	
<b>改修設計者</b>	Gilles Clément, Alan Provost, Patrick Berger, Jean-François Jodry and Jean-Paul Viguier		
<b>所在地</b>	フランス、パリ	<a href="#">URL</a>  <a href="#">Google Map</a>	
<b>改修年</b>	1992		<b>撮影者提供者</b> 柳沢伸也 (2005年)
<b>建築規模</b>	敷地面積:14ha		<b>概要 after</b> シトロエン自動車工場跡地作られた都市型公園。公園内の売店等に工場の痕跡が残る。園内は芝生広場、水路・水盤、熱帯温室、庭園、気球広場等から構成される。
<b>掲載書誌</b>			
<b>賞・選定</b>			
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>シトロエン自動車工場</b>		
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 生産施設	<b>小分類</b> 自動車工場	<b>概要 before</b> 1982年まで自動車会社シトロエンの工場として稼働。工場の延べ面積は55,000㎡、1日に250台の自動車を生産していた。工場移転後は、地域再生が模索されていた。
<b>■写真</b> Before	After 珍しい樹木や植物を集めた温室		After 人気の噴水広場と気球
写真2 Before写真			
<b>撮影者提供者</b>	<b>撮影者提供者</b> 柳沢伸也 (2005年)	<b>撮影者提供者</b> 柳沢伸也 (2005年)	
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 用途変更、部分保存、痕跡	<b>内容</b> パリ南西部のセーヌ川岸に面したアンドレ・シトロエン公園は、1992年にシトロエン自動車工場跡地の再開発によって作られた。公園内の売店やキオスクなど、シトロエン工場の痕跡が各所に残されている。設計は、造園家と建築家 (アラン プロヴォスト、ジル クレマン、パトリック ベルジェ、ジャン ポール ヴィギエ、フランソワ ジョドリ) が協働して行った。公園は、ホワイトガーデン、ブラックガーデン、中央公園の3つのテーマに分かれ、大きな芝生広場、水路・水盤、熱帯温室、庭園、噴水広場、気球広場等から構成される。中でも高度150m上昇する気球は大人気で、地域住民からの評価も高い。公園の建設に先立ち、周囲には共同住宅、オフィス街、医療施設が作られ、街全体が計画的に作られている。	
<b>■備考</b>	コンペ、事業主体DPJEV 産業革命時代に建設された工場建屋の一部が残され、売店等に利用されている。のこぎり形状の屋根に、工場跡地の記憶を残す。		
<b>■作成者</b> 氏名/所属	柳沢伸也 / JIA再生部会		<b>管理者</b> <b>記載</b> SY-012